



動きの改善点をまとめ、Google Classroomで提出

活用場面

個別学習

個に応じた学習

思考を深める学習

活用した機器等

Chromebook

活用したアプリ等

Google Classroom

Google Forms

カメラ機能

学習のねらい

実技テストに向けて、走り高跳びの動作を撮影し、ペア活動で互いの映像を確認し、改善点を発見する。改善点を踏まえて、動きの修正につなげ、実践する。

授業後に映像、振り返りの提出を求めることで、学習のねらいが達成されているかの確認を行うとともに、今後の授業に生かす。

学習の流れ

導入 自身の動きを映像で確認し、改善につなげるという目標を確認する。
改善点を見つけるための動きのポイントを確認する。
Chromebookの使い方の確認をする。



展開 準備運動の後に、はさみ跳びと背面跳びに挑戦している様子をChromebookで撮影し、動きのポイントを踏まえ、ペアで互いの動画を見て改善点を考える。改善点を意識し、動きの修正を行う。



まとめ 映像の確認から動きの改善につなげることができたかなど、授業を振り返る。撮影した映像と取り組みの中で上がった改善点をまとめ、課題としてGoogle Formsで提出する。

ココでICTを活用！

カメラ機能を活用して、生徒が自身の動きを客観的に捉え、改善することができるようにした。また、課題発見・解決のプロセスとして、ペア活動を用いることで、他者の映像から自身の課題解決につなげることができるようにした。

さらに、授業後にGoogle Formsで振り返りをさせることで、改めて自身の課題や改善点について考える場面を設けた。

取組みの映像を提出させることで、授業後に生徒の動きを確認することができるので、生徒の課題などを把握して、次回以降の授業に生かす。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

1人1台の端末を使用することができるため、自身の動きだけでなく、他者の動きも映像で容易に確認、比較することができ、生徒の取組みにつながっていくと考えられる。

Google Formsでの振り返りや映像の提出を授業後に行ったことで、授業時間の確保を行うことができた。授業を行った時点では、生徒が端末の使用に慣れておらず、動画等の提出に戸惑う様子も見られたが、その点については、継続的な活用により、解消していくことができると感じている。